

マーケットの動き（2023年6月5日～6月9日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

日米欧の金融政策決定会合を前にオーストラリア準備銀行やカナダ銀行が相次いで追加利上げを決定したことから、欧米の利上げ長期化観測が意識され米国債券は売られました。その後、8日発表の米国雇用指標が労働需給の緩和を示したことで買いが入るなど、金利上昇幅を縮めて週を終えました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価額は下落）。

投資環境見通し（2023年6月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに小幅に上昇

米国：景気後退懸念を背景に投資家の間で利下げ観測もみられる一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は足元の労働需給ひっ迫やインフレ率見通しの上昇を受けて年内利下げに否定的な見方を示しています。長期金利は当面は上昇するとみられますが、景気後退懸念もあり小幅にとどまるとみえています。

欧州：依然としてコア・インフレ率が高止まりしていることや賃金上昇圧力への警戒感が残る中、ECB（欧州中央銀行）は追加の金融引き締め必要性を強調しています。ドイツ長期金利に上昇圧力がかかりやすく、米国市場と同様に小幅に上昇するとみえています。

	6月9日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	3.74	0.05	0.22	0.18	0.70
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	527.52	▲0.28%	1.71%	1.91%	0.71%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

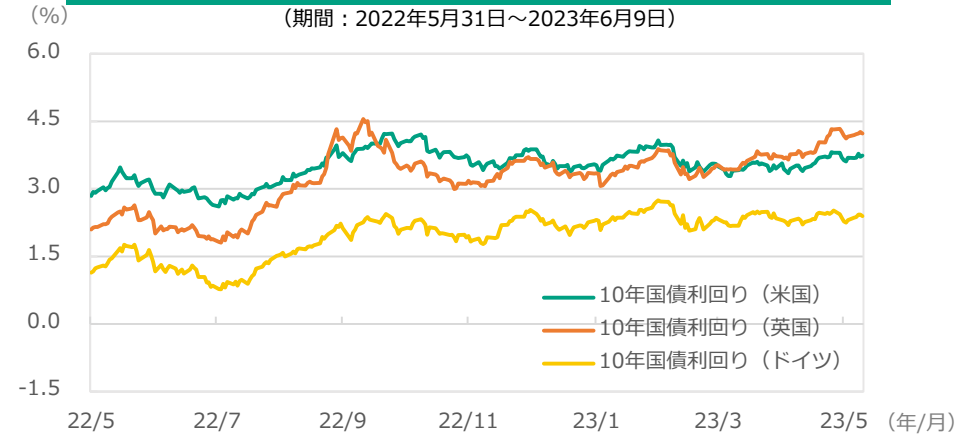
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202306_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2022年5月31日～2023年6月9日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2022年5月31日～2023年6月9日）



※2022年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成